

企画展

# 土のしらべ

和の伝統を再構築する左官の技



2016年 9月3日 (土)~11月6日 (日)

竹中大工道具館 企画展

# 土のしらべ

—和の伝統を再構築する左官の技

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび竹中大工道具館では、2016年9月3日（土）から11月6日（日）まで、企画展「土のしらべ—和の伝統を再構築する左官の技」を開催いたします。

土や漆喰をつかって壁をつくり、空間の表層をになう左官。つねに大工、建具、表具、畳との調和を意識しながら仕事をまとめます。そのためには左官の知識だけでは足りず、他の仕事や素材を熟知し、そこで何が求められているのかを見抜く力が大切なのです。

本展覧会では、さまざまな要素を複合させることで左官の可能性をひろげる作品を展示します。土壁だけでなく和紙や木などの素材を組合せ、光や風、水にうつろう風情を楽しむことで空間を演出していきます。

ぜひともご来場くださいますようお願い申し上げます。また、あわせて貴媒体にて記事としてお取り上げいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、広報用写真をご用意しております。ご希望の場合は、別紙の写真借用申込書にてご請求ください。読者プレゼントにつきましても写真借用申込書にてお申し込みを受け付けております。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記の広報事務局までお問い合わせくださいようお願い申し上げます。

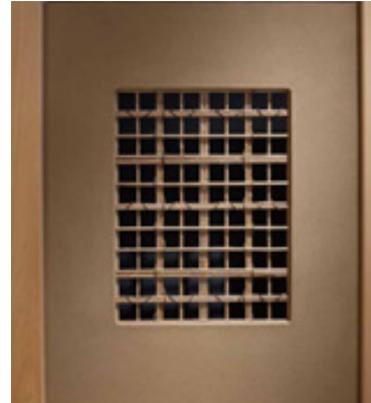
謹白

公益財団法人 竹中大工道具館

# 展覧会内容

## 土のしらべ

土や漆喰をつかって壁をつくり、空間の表層をになう左官のしごと。大工、建具、表具、畳との調和を意識し、光や風の生みだす四季折々のうつろいに思いをはせながら庭へと視線を誘う。本展覧会では、さまざまな要素を複合させることで左官の可能性をひろげる作品を展示します。



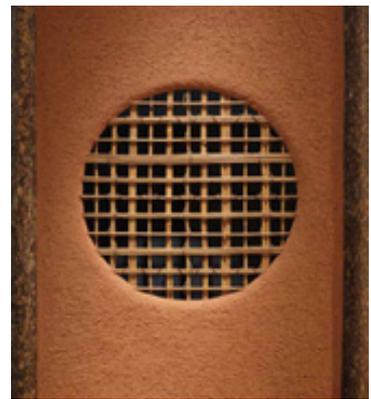
## 京に学ぶ

「左官」という職名は京都で定着しました。高度に発達した京壁の技が日本の左官技術の原点となっています。その創世期となった江戸時代の史料や道具、明治に発展した技術を道具の視点から紹介します。新たに見つかった江戸時代末期の鏝は、これまでの左官史を書き換えます。



## 千の鏝

左官がつかう鏝の種類は千におよぶといわれます。なぜそこまでの種類が必要だったのか。そのほとんどは数寄屋のためのものでした。真行草を表現する繊細な肌理や角の丸みの備えを解説します。左官仕様のすべてを踏襲した久住章の道具。自ら分析した鏝の形とその意味を映像を交えながら展示します。



名 称	土のしらべー和の伝統を再構築する左官の技
会 期	2016年9月3日(土)～11月6日(日)
会 場	竹中大工道具館(神戸市中央区熊内町7-5-1)
入 場 料	一般:500円、大・高生:300円、小・中生:無料、65歳以上の方:200円 ※団体(20名以上)割引、その他各種割引あり
主 催	公益財団法人 竹中大工道具館
公 式 サ イ ト	<a href="http://www.dougukan.jp/special_exhibition/thesakan_2016">http://www.dougukan.jp/special_exhibition/thesakan_2016</a>

## 左官小史

日本の土壁とは京壁を指すという過言ではありません。京の「左官」が成立した背景を最新の左官小史とともに<sup>さかのぼ</sup>遡ります。



## 左官道具史

土の塗壁の寿命があまり長くないことは意外と知られていません。千利休の作と信じられている日本現存最古の茶室「妙喜庵待庵」<sup>みょうき たいあん</sup>も、壁は当初のものではありません。桂離宮の幕末の修復工事以前の壁はどのようなものであったのでしょうか。それを辿る唯一の手段は、鏝と材料の歴史をひも解くことなのです。ここでは幕末から明治にかけての京都の鏝を紹介します。その歴史は、現在知られている左官壁の様子が、同時期に完成していたことを物語るのです。京の名品約200点を年代と用途に分けて展示解説します。



## 関連イベントのご案内

### オープニングイベント「美を創る匠の技」

展示作品の仕上げ工程を公開します。左官材料と木、石、紙などのさまざまな素材を組合せ、光や風のうつろいで空間を彩ります。

※詳細内容は未定です。本展覧会ウェブサイトでご確認ください。

講 師 田中らん (左官職人 久住左官)  
日 時 2016年9月3日(土)～9月11日(日)  
場 所 当館特設会場

### 「ちよこつと木工」期間特別企画「どろだんごをつくろう！」

子どもの頃、一度はつくったどろだんご。今では子どもが土に触れる機会も少なくなりました。ちよこつと木工の特別企画として「どろだんごをつくろう!」を行います。ちょっとしたコツを覚えて、泥団子名人になりましょう!

日 時 会期中の土曜、日曜、祝日 (※「ちよこつと木工」開催日時に準じる)  
10:00～12:00、13:00～16:00

場 所 当館B2F木工室

参 加 費 キット代 1,458円 (税込) および別途要入館料

※他イベント開催時には実施しないこともあります。詳しくはウェブサイトでご確認ください。

### 「技と心」セミナー「土壁体験」 ※申込不要

左官職人を見ていると、鏝を軽々と動かし、瞬く間に平らな壁が仕上がっていきます。しかし、実際にやってみると思うようにできるものではありません。プロに習って壁塗りを体験してみませんか?土の重みを感じながら鏝を一定に動かす。身体で塗る感覚を体験してみましょう。

日 時 2016年9月4日(日) 13:00～(随時ご体験いただけます)  
場 所 当館1F 特設会場

### 「技と心」講演会「実践左官学—空間を設えるための備え」

左官以外の知識や素材をも熟知して調和させる力が要求される今日の仕事。伝統に束縛されず如何に自由に振舞えるか、左官職人・久住氏の挑戦について語って頂きます。

講 師 久住誠 (左官職人 久住左官代表)  
日 時 2016年10月2日(日)  
13:00～15:30 (12:30開場予定)  
場 所 ラッセホール (神戸市中央区中山手通4-10-8)  
※神戸市営地下鉄「県庁前駅」より徒歩5分  
定 員 先着200名 (申込不要・入場無料)

#### 講師プロフィール 久住 誠

1974年淡路島生れ。祖父の代から続く左官の家に生れ育つ。幼少の頃から修行に入り、高校生の頃には実務に就いていた。23歳で久住左官を設立し、京都御所、桂離宮、金閣寺茶室などの名跡に携わるとともに象設計集団などの現代建築の仕事も請けてきた。



# 貸出用画像



Ⓐ 久住章の道具



Ⓑ 江戸期の鋺



Ⓒ 真行草の壁と道具 (東京展会場風景)



Ⓓ 左官作業



Ⓔ 塗り付け



Ⓕ 講演会講師・久住誠



Ⓖ 泥団子



竹中大工道具館外観



竹中大工道具館 1F ホール



〈アクセス〉

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分  
 神戸市営地下鉄「新神戸駅」北出口1または北出口2より徒歩約3分  
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

プレス関連の問い合わせ

画像掲載については添付の申込書 (FAX) にてお申し込みください。

「土のしらべー和の伝統を再構築する左官の技」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館

TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713

e-mail: thesakan@dougukan.jp

展示の内容は変更になることがあります。最新情報は下記ウェブサイトでご確認ください。

[http://www.dougukan.jp/special\\_exhibition/thesakan\\_2016](http://www.dougukan.jp/special_exhibition/thesakan_2016)

